

文法を楽しく!!

「～てある」と「ている」「～ておく」

通信で習った項目：受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～てくる、～ている、**～てある**、～ために、～ように、～たら、～と

前回までの「文法をやさしく」に続いて、今回から「文法を楽しく!!」が始まります。

担当するのは、私、市川保子です。浦和の日本語国際センターで文法の授業を担当しています。どうぞよろしくお願ひします。

「文法を楽しく!!」では、次の点に力を入れて進めていきたいと思います。

- 1) 実際の会話例や文例で状況や文脈を考えながら、文法項目をとらえていく。
- 2) 文法項目の使い方がわかるかどうかの練習問題を多くする。

取り上げる項目は、「文法をやさしく」と同じく、研修生の皆さんが間違えやすいものを選んでいく予定です。楽しんで文法を学んでいってください。

タイトルの帯の中は今まで「文法をやさしく」で勉強した項目に、今回勉強する項目「～てある」を加えたものです。この通信で、今までに何を勉強したかを思い出す参考にしてください。

今回は「～てある」について、「～ている」や「～ておく」と比較しながら学習しましょう。まず、次の問題をやってみてください。

問題 1：下の< >の中のことばを使って文を完成しなさい。

A：さあ、出かけよう。窓は(①)あるし、電気も(②)ある。

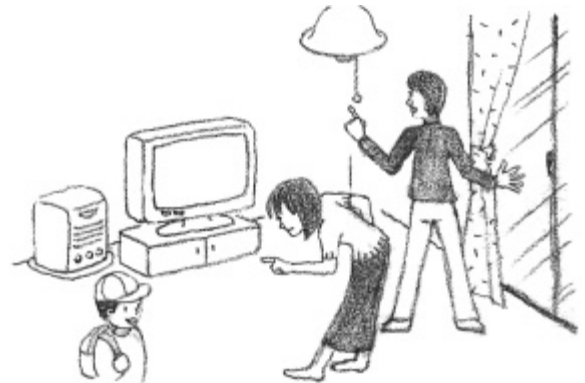
B：ストーブも(③)いるし、テレビも(④)いるわ。

A：窓の鍵も(⑤)いる。みんな大丈夫だ。

<閉める／閉まる、消す／消える、かける／かかる>

これはどんな状況の会話で、だれとだれが話しているかわかりますか。答を書いてください。

状況：()
話している人：()と()



そうですね。たぶん家族がこれから出かけようとしているところですね。話している人はAはお父さん、Bはお母さんでしょうか。Aは「みんな大丈夫だ」と男ことばを使っているので男性、Bは「(～ている)わ」を使っているので女性ですね。

()の答は、「①閉めて、②消して、③消えて、④消えて、⑤かかって」です。

では、次に、「～てある」のポイントを整理しましょう。

意味 1：「～てある」は、人が何かをした結果に生じた状態を表す。

(状態を表す「～ている」とよく似ている。)

形：「～が+他動詞+てある」「～が+自動詞+ている」「～てある」「～ている」の違い：

「～てある」は動作をした人の意図 (intention) に焦点が当たる。

「～ている」は、今の状態 (state) だけに焦点が当たる。

助詞には「が」が使われますが、「が」の前の事柄が、話し手・聞き手にとって共通の話題であるときは、「は」や「も」で表されやすくなります。

次の会話の中の「他動詞+てある」と「自動詞+ている」の使い方の違いがわかりますか。

【会話1】 A：ああ、寒い。あっ、窓が開いていますね。

B：寒いですか。

タバコくさかったので、開けてあるんですよ。
すぐ閉めますから、ちょっとがまんしてくださいね。



Aは窓の状態を見て「開いている」と言いました。それに対してBは、これはわざわざタバコのおいを消すために開けたのだと説明しています。Bの意図が入っています。それで、Bは「開けてある」を使ったのです。

「～である」は結果の状態とともに、次のような意味を表すことがあります。

意味2：「～である」は、何かの目的のためにしてあることを表す。（「～ている」にはこの用法はありません。）

形：「～が／を＋他動詞＋である」

【会話2】 A：何時の新幹線に乗るんですか。

B：9時です。もう切符を(が)買ってあるので、ぎりぎりに行っても大丈夫です。

ぎりぎり (just in time)

会話2のBは「切符を買ってある」「切符が買ってある」の両方使えます。「切符を買ってある」と「を」を使うときには、話し手の「買った」という行為を、また、「切符が買ってある」と「が」を使うときには、「もう買ってある」という結果の状態を表していると考えられます。

「が」「を」は次の会話のAのように「は」や「も」で表されることがあります。これは「が」「を」の前に来る事柄が、話し手・聞き手にとって共通の話題であるからです。

【会話3】 A：何時の新幹線に乗るんですか。

B：9時です。

A：切符はもう買ってあるんですか。

B：ええ、買ってあります。

A：ホテルの予約は。

B：ええ、ホテルの予約もとってあります。

意味2の「～である」(何かの目的のためにしてある)は「～しておく」(何かの目的のために前もってしておく)に近づいていきます。

【会話4】 A：9時の新幹線の切符はどうになりましたか。

B：もう買っておきました。

A：ああ、そうですか。ありがとう。で、ホテルの予約は。

B：ええ、ホテルの予約もとっておきました。

会話3の「買ってあります」は「(ある目的でそうして)その結果そうしてある」を表しますが、会話4の「買ってあります」「とっておきます」は、それぞれ、話し手が、「ある目的でそうする」ということを表しています。両方とも何かの目的で「する」「してある」の意味を表しますが、「～しておく」のほうが動作・行為に焦点が当たっています。

「～ている」「～である」「～しておく」の意味用法を図にすると次のようになります。

結果の状態 ⇐ ⇨ 意図、何かの目的のために
～が～ている ～が～である ～を～である ～を～しておく

では、最後に今までのことがわかったかどうか、もう一度問題に挑戦してください。答はこのページのどこかにあります。

問題2：下の< >の中のことばを使って文を完成しなさい。

A：さあ、出かけよう。電気も消して(①)し、ストーブも消して(②)。

B：テレビも消えて(③)し…。

あ、窓が開いて(④)。

お父さん、窓を閉めて、鍵をかけて(⑤)。

ください。

< いる / ある / おく >

参考文献

松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

グループ・ジャマシー編著(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版

(2)19⑤ ②1⑦ ③1⑥ ④②⑦ ⑤②① 最の2語目

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。

ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm>です。